

愛国、幸福駅「恋人の聖地」に

NPO地域活性化支援センター（静岡県）が認定している「恋人の聖地」に1日、帯広市内の旧愛国・幸福駅が選ばれた。道東からは初めてで、道内6カ所目。愛をテーマにした魅力的な観光拠点として、再び全国から脚光を浴びそうだ。

同センターでは、プロポーズに適した観光スポットを認定、にぎ

道東で初認定

わいを創出する「恋人の聖地プロジェクト」を推進。全国で61カ所が認定されており、今回新たに3カ所が追加登録された。同所のほか、横浜市の「ランドマークタワー69階展望フロアスカイガーデン」と、新潟県村上市の「瀬波温泉海岸」が選ばれた。

近く申請した帯広市に「恋人の聖地」の認証プレートが届く予定。8月下旬には旧幸福駅で選定記念イベントも企画している。市商工観光部では「認定されたことで全国各地にネットワークが広がり、付加価値が高まった。今後各地域と協力して複合的な効果が出るよう、市民や全国に情報を発信していきたい」（松山豊部長）としている。（中津川甫）

市「他地域と連携し複合効果を」